

郷村断層帯・山田断層帯において実施した地形・地質調査（その1：空中写真判読と露頭・トレンチ調査）

Topographical and geological explorations along the Gomura and the Yamada fault zone: Part 1 aerial photointerpretation and geological survey

*阿部 恒平¹、三輪 敦志¹、佐々木 亮道¹、今泉 俊文²、岡田 篤正³、岡田 真介²、中村 教博²、福地 龍郎⁴、大槻 憲四郎⁵

*Kohei Abe¹, Atsushi Miwa¹, Akimichi Sasaki¹, Toshifumi Imaizumi², Atsumasa Okada³, Shinsuke Okada², Norihiro Nakamura², Tatsuro Fukuchi⁴, Kenshiro Otsuki⁵

1.応用地質株式会社、2.東北大学、3.京都大学名誉教授、4.山梨大学、5.東北大学名誉教授

1.Oyo Corporation, 2.Tohoku Univ., 3.Emeritus professor of Kyoto Univ., 4.Univ. of Yamanashi, 5.Emeritus professor of Tohoku Univ.

原子力規制庁からの平成26年度原子力施設等防災対策等委託費（原子力施設における地質構造等に係る調査・研究（丹後地域における物理探査手法を用いた断層構造調査等））事業の一環として、郷村断層帯・山田断層帯の合計4地域において、活断層の評価手法に関する情報を整理するために、地形・地質調査を行った。本発表では、郷村断層帯・山田断層帯における空中写真判読結果、露頭・トレンチ調査結果を報告する。山田断層帯における露頭・トレンチ調査では活断層が確認され、活断層の詳細トレース及び活動履歴を確認することができた。

キーワード：空中写真判読、露頭・トレンチ調査、郷村断層帯、山田断層帯

Keywords: aerial photointerpretation, geological survey, Gomura fault zone, Yamada fault zone